



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2020/03/17

研究課題名	広域抗菌薬使用による腸内細菌叢への影響の検討
研究の対象	感染症のために入院を必要とする状態になった患者さんのうち、メロペネムもしくはタゾバクタム・ピペラシリンという薬剤を3日以上投与された方
研究目的・方法	<p>抗菌薬は「入院患者の約3分の1に投与される」と言われるほど医療現場において重要な薬です。抗菌薬を使用するにあたり、効果の有無だけでなく副作用を最低にすることも重要であると考えています。</p> <p>北野病院では過去のカルテを用いた研究で、メロペネムというお薬はタゾバクタム・ピペラシリンというお薬よりも下痢の副作用が少ない可能性が見出されています。その理由が判明すれば、よりどの患者さんにどの薬剤を用いるのが良いかを判断する根拠となりますが、過去の研究ではその理由は不明です。そのため、これから上記の薬剤を入院で投与される患者さんに対して、便の中の細菌の割合を調べることで、そのお薬の影響を調べることを目的としています。</p> <p>研究期間：許可日～2022年3月</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：基本情報、病歴、治療歴 等 試料：便
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867</p> <p>研究責任者： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 感染症科部長 羽田 敦子</p>